

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 6 月 27 日 (2013.6.27)

【公開番号】特開 2011-244263 (P2011-244263A)

【公開日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【年通号数】公開・登録公報 2011-048

【出願番号】特願 2010-115333 (P2010-115333)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/393 (2006.01)

G 0 6 T 3/40 (2006.01)

B 4 1 J 2/485 (2006.01)

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/393

G 0 6 T 3/40 A

B 4 1 J 3/12 M

B 4 1 J 21/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 14 日 (2013.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体の両面に画像を印字可能な印字機構と、

前記記録媒体の裏面に印字される前記画像のサイズを補正する画像補正手段と、  
を備え、

前記画像補正手段は、前記印字機構の副走査方向に連続する画素列で構成された複数の  
遷移領域について画素の挿抜処理を行うことにより前記画像のサイズを補正する  
ことを特徴とする画像印字装置。

【請求項 2】

前記画像補正手段は、

前記複数の遷移領域の間隔を画定する補正係数を設定する補正係数設定手段と、

前記遷移領域を構成する画素列の数を設定する遷移領域設定手段と、

を有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像印字装置。

【請求項 3】

印字に伴う前記記録媒体の伸縮率を設定する伸縮率設定手段をさらに備え、

前記補正係数設定手段は、前記伸縮率設定手段で設定された伸縮率に応じた前記補正係  
数を算出して設定する

ことを特徴とする請求項 2 に記載の画像印字装置。

【請求項 4】

前記記録媒体の表面への印字に要する時間と前記記録媒体の裏面への印字に要する時間  
とを計測する計測手段をさらに備え、

前記補正係数設定手段は、前記計測手段で計測された時間を用いて前記補正係数を算出  
して設定する

ことを特徴とする請求項 2 に記載の画像印字装置。

**【請求項 5】**

N(N-2)回の描画走査の重畳によって記録媒体に画像を印字する印字機構と、  
2回目以降の描画走査において前記記録媒体に印字される画像のサイズを補正するN個の画像補正手段と、  
を備え、

前記画像補正手段は、前記印字機構の副走査方向に連続する画素列で構成された遷移領域について画素の挿抜処理を行うことにより前記画像のサイズを補正することを特徴とする画像印字装置。

**【請求項 6】**

前記画像補正手段は、前記遷移領域の位置を各描画走査で異ならせる手段を備えることを特徴とする請求項 5 に記載の画像印字装置。

**【請求項 7】**

前記印字機構は、複数の色顔料を用いた色毎の描画走査によって記録媒体にカラー画像を印字可能であって、色毎に設けられ、

前記画像補正手段は、色毎に設けられ、前記色毎の描画走査における遷移領域の位置を相互に異ならせる手段を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像印字装置。

**【請求項 8】**

前記印字機構は、同時に複数のビームで走査可能なマルチビームのレーザ光源を備え、  
前記画像補正手段は、前記遷移領域が前記マルチビームの幅内に収まるように、前記遷移領域の開始位置を調整する手段を備える、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像印字装置。

**【請求項 9】**

記録媒体の両面に画像を印字可能な印字機構を備えた画像印字装置における画像の印字方法において、

前記記録媒体の裏面に印字される前記画像のサイズを補正するステップであって、前記印字機構の副走査方向に連続する画素列で構成された複数の遷移領域について画素の挿抜処理を行うことにより前記画像のサイズを補正するステップ  
を含むことを特徴とする画像の印字方法。

**【請求項 10】**

コンピュータを請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の画像印字装置として機能させるためのプログラム。